

HITACHI
Inspire the Next

withコロナ社会の建物内の移動を考える

日立エレベーター 非接触登録装置のご提案

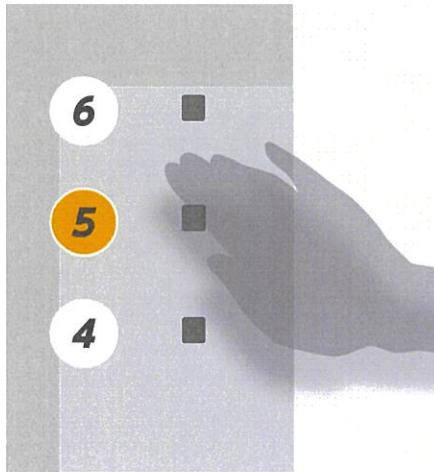


非接触登録装置

対象機種：日立アーバンエース（現行機種）が対象です。
詳細は当社技術員にお問い合わせください。

かご内操作盤

行先階ボタンの横にセンサーを設置。
センサーに手をかざすことで非接触で行先階の登録することができます。

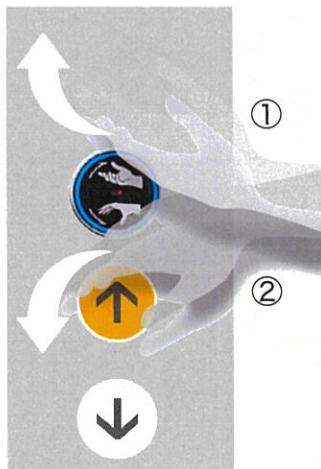
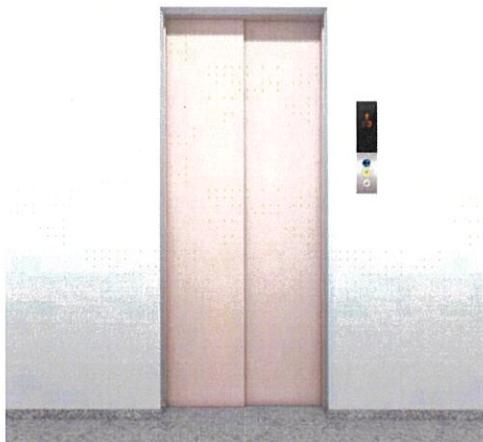


適用条件

- ・縦型操作盤のみに適用。
- ・操作盤の仕上げは樹脂成型適用不可。
- ・操作盤の行先階ボタンは、Φ35のみ適用可。（大型ボタンは適用不可）
- ・出入口数（行先階ボタン数）は12個以下。
- ・かご出入口二方向仕様で「同一階（通り抜け階）」がある場合は適用不可。
- ・屋外設置および展望用は適用不可。

乗場操作盤

乗場操作盤にモーションセンサーを設置。
利用者の手の動きを検知すると、非接触で呼び登録することができます。



適用条件

- ・センサーは乗場操作盤へ組込みとなります。
- ・操作盤の仕上げは樹脂成型適用不可。
- ・乗場ボタンは、Φ35のみ適用可。（Φ50ボタンは適用不可）
- ・出入口数12カ所以下。
- ・屋外設置および展望用は適用不可。

- 掲載の写真はCG合成のため、実際とは明るさや色合いなど異なる場合があります。
- このリーフレットに掲載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

株式会社日立ビルシステム

本社 〒101-8941
東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地（ワテラスタワー）
URL: <http://www.hbs.co.jp>

TEL. 0120-7838-99（カスタマーサポートセンター）

⚠ 安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくご使用ください。

お問い合わせは…



本カタログは環境に配慮し、
植物油インキを使用しています。

日立エレベーター

HITACHI
Inspire the Next

エレベーターの3密回避

密接回避

密集回避

密閉回避



「密接」「密集」「密閉」。ニューノーマル時代の「3密」回避をエレベーターに。

対象機種:日立アーバンエース(現行機種)が対象です。
詳細は当社技術員にお問い合わせください。



※適用条件は裏面(1)を参照ください



※適用条件は裏面(2)を参照ください



※適用条件は裏面(3)を参照ください

密接回避

ボタンに触れずに、
エレベーターに乗れる。

非接触登録装置

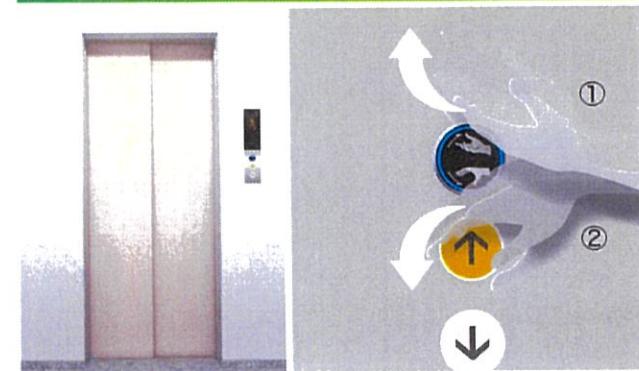
行先階ボタンの横にセンサーを設置し、手をかざすだけで非接触で行先階の登録ができます。また、乗場操作盤にはモーションセンサーを設置し、利用者の手の動きを検知すると、非接触で呼び登録することができます。

エレベーターかご室内の非接触登録装置



センサーに手をかざすことでの非接触で
行先階の登録をすることができます。

乗場の非接触登録装置



①上方方向のボタン登録時センサーの前にて上方方向に手を振り上げます。
②下方方向のボタン登録時センサーの前にて下方方向に手を振り下げます。

密集回避

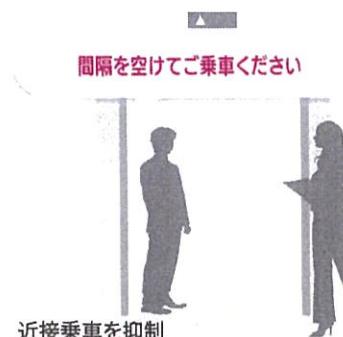
これからの新常識、
密集回避アナウンス。

密集回避運転

かご内の積載量に応じて、密集度合いを3段階に分け、段階に合わせた運転制御・注意喚起を行い、かご内の密集を回避します。さらに、複数台設置(群管理制御)時かご内の密集状態が検知された場合は、乗場の密集を防ぐため、あらかじめ別のかごを呼び、乗場の密集状態を抑制します。

段階1:密になる前(密集度:低い)

密集を避けて乗車することを促す。



近接乗車を抑制

段階2:密になりそう(密集度:高い)

アナウンスが流れ、ドアが閉まり、
途中階での呼び出しには応じず、行先階に直行。



追加乗車を抑制

段階3:密になった(密集度:かなり高い)

降車を促すとともに、密集状態が解消される
まで戸開待機し出発を抑制する。



密集乗車を抑制

密閉回避

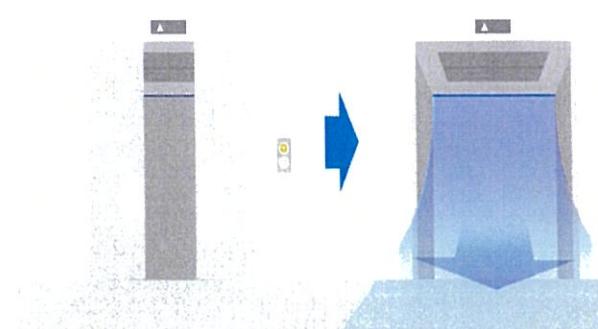
エレベーター利用後、
自動で空気を入れ替えて清潔に!

かご内クリーン運転

かご内クリーン運転では、エレベーターの利用後に、一定時間が経過すると、次の利用者のために、自動で戸を開き強制換気ファンを回してかご内の空気を入れ替えます。さらに、空気を入れ替えた後に、自動で戸を閉めて「ナノイー X」発生装置により、かご内を清潔に保ちます。

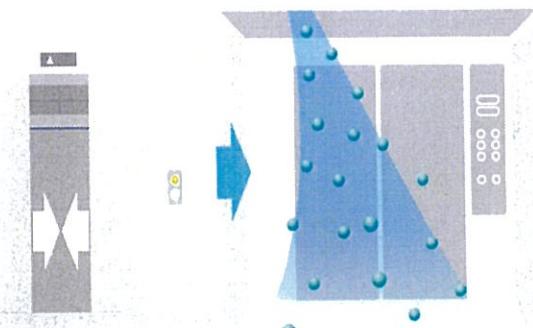
空気の入れ替え

行先階呼びにサービスした後に、一定時間が経過すると、
自動でエレベーターの戸を開き、強制換気を行います。



かご内の清掃

強制換気完了後、エレベーターの戸を閉じ、「ナノイー X」発生装置を起動することで、かご内の快適空間を演出します。



適応機種拡大しています!

「てんかせ4方向」「てんかせ2方向 NEW」「てんかせ1方向 NEW」「てんつり NEW」

2021年1月発売予定

「ビルトイン」「てんうめ」「ゆかおり」

てんかせ4方向



てんかせ2方向 NEW



てんかせ1方向 NEW



てんつり NEW



酵素の力でウイルスを抑制

日立の酵素フィルターは

HITACHI
Inspire the Next



耐用年数
4年間*

ろ材のみ
交換可能

旧室内
ユニットにも
取り付け
可能*

*詳細は裏面をご参照ください。

酵素フィルターとは

フィルター繊維に固定化された天然の酵素が、捕集した微生物の増殖を抑制し、二次汚染を低減します。天然の酵素を利用していることから安全性にも優れ、また、酵素自体は消費されないため（長期間にわたり）その効果を維持できる特長があります。



酵素フィルターを組み込んだ写真
(てんつりの場合)

[酵素フィルターの試験について]

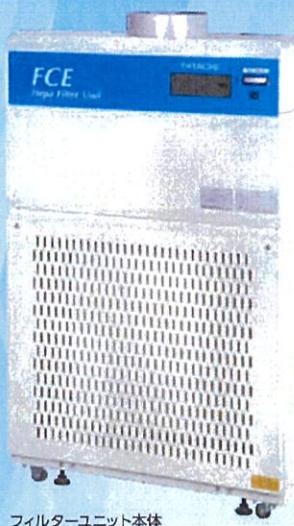
- 試験機関：(一財)日本食品分析センター、試験番号第204031510-001号
- 試験方法：3cm×3cmの大きさに切断した酵素フィルターに1種類のウイルス浮遊液を滴下し、室温にて24時間保存した後のウイルス感染値をTCID50法により測定
- 試験結果：酵素フィルターに付着した1種類のウイルスに対して24時間で99.9%以上抑制

(注)試験空間における酵素フィルターに付着したウイルスの24時間経過後の効果であり、実使用空間での試験結果ではありません。

本フィルターは日揮ユニバーサル株式会社の酵素フィルターを日立空調機用フィルターとして製品化しています。

簡易陰圧装置用 『排気HEPAフィルターユニット』

特 長



フィルターユニット本体

- 1 一般病室を陰圧対応可能(屋外排気)
- 2 室内を清浄化(室内排気)^(注1)
- 3 本体の差圧計でHEPAフィルターの目詰まり管理が可能

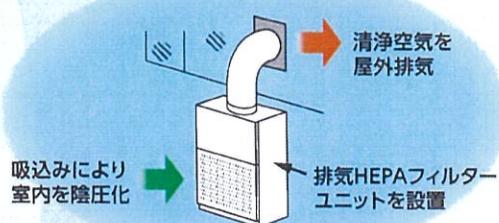
「排気HEPAフィルターユニット(本体)」と「差圧計(付属品)」を部屋に設置し排気ダクト工事を行うことにより、
簡易陰圧装置^(注2)として使用可能です。

(注1)クリーンルーム用としては使用できません。

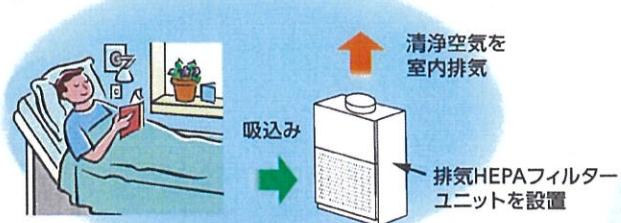
(注2)CDC(アメリカ疾病予防管理センター)ガイドラインでは、ダクト接続による屋外排気で廊下との室内気圧差を-2.5Pa以下に設定することが推奨されています。

用途 病院の一般病室・診察室・待合室等での換気を行います

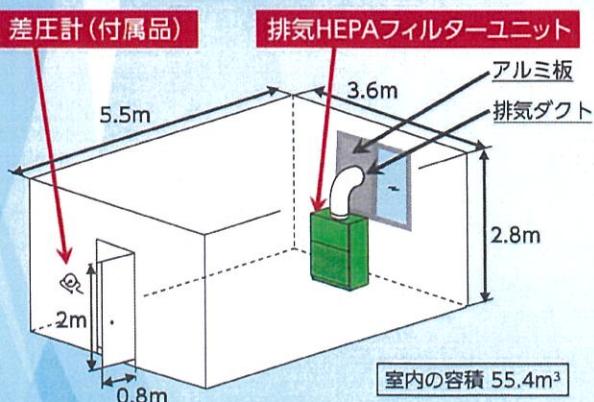
●一般病室を陰圧対応可能 [イメージ図]



●室内を清浄化 [イメージ図]



設 置 例



運転モード	廊下に対する室内圧力差(Pa)
運転前(停止時)	0
強運転(10m³/min)	-7.8
弱運転(5m³/min)	-3.5

CDCガイドラインに基づき廊下に対する室内の陰圧を確認しました。

注)1. 初期風量による測定結果です。

2. 部屋の気密性により圧力差の結果は異なります。

設置前の確認事項

(1) 設置前の室内・廊下気圧差確認

設置前には、廊下に対する室内圧力の差が0Pa以下であることを確認ください。

(2) 設置台数の選定

本機器の導入により、一般室を入院個室や診察室等として使用する場合には、「病院空調設備の設計・管理指針(HEAS-02-2013)」の最小風量の目安(6回/h)を満足できるよう設置部屋の容積に合わせた、排気HEPAフィルタユニットの台数を選定ください。

排気HEPAフィルタ ユニット設置台数	設置部屋の容積	
	弱運転時	強運転時
1台	50m ³ 以下	100m ³ 以下
2台	50~100m ³ 以下	100~200m ³ 以下

排気HEPAフィルタユニット

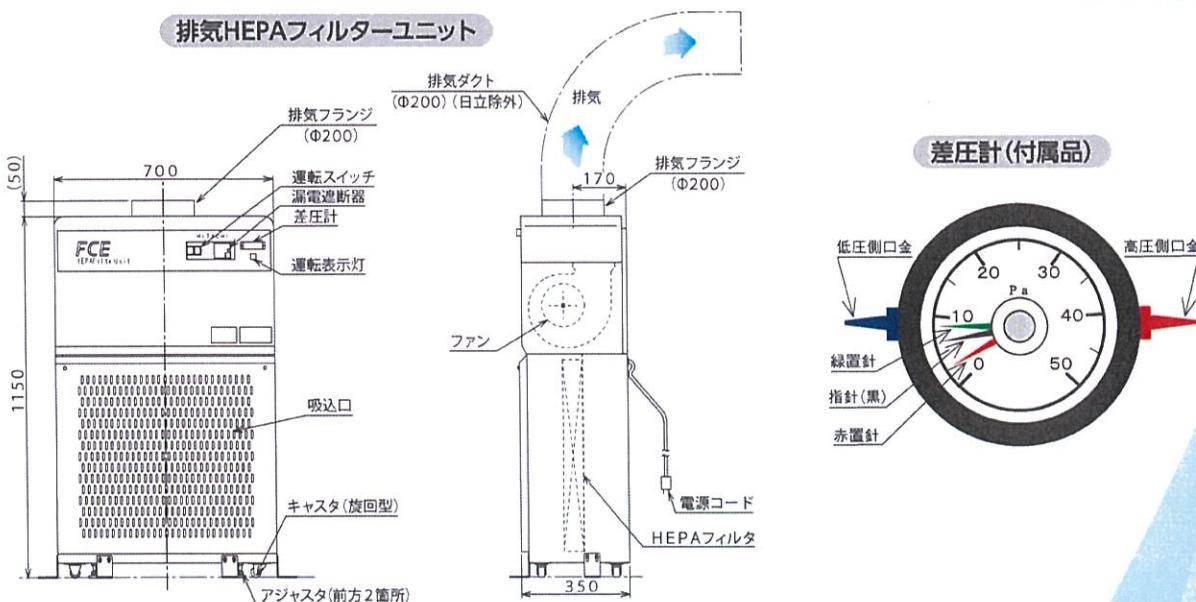
型式:FCE-10K			
項目	仕様	項目	仕様
集じん効率	0.3μm 99.99%以上	消費電力	95W(「強」運転時)
集じん要素	HEPAフィルター	騒音値	50dB(A)(「強」運転時)
処理風量	10/5m ³ /min(強/弱)	外装	鋼板製焼付塗装 オホト半ツヤ
機外静圧	30Pa(「強」運転時)	外形寸法	W700×D350×H1,200 (mm)
電源	AC100V 50/60Hz	質量	60kg
付属品	差圧計(圧力レンジ0~50Pa、最小目盛0.5Pa、精度±5%FS) ×1個 差圧計用ビニール管(内径Φ6) 5m×1本		

(注記) 1. 騒音値は、製品中心正面1m、床上高さ1mの位置における値とします。

2. 周囲環境は、5~40°C 85%RH以下の一般室内空気(有機溶剂可塑剤など特殊雰囲気は除く)とします。

寸法図

(単位:mm)



⚠ 安全に関するご注意

- ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- 据え付け・ダクト工事後に、部屋に設置した差圧計の指針(黒)が2.5Pa以上を指していることを、ご確認ください。

このカタログに掲載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

◎ 株式会社 日立産機システム

お問い合わせは下記へどうぞ

本社・営業統括本部 (03)4345-6025 東北支社 (022)364-2710 北海道支社 (011)611-1224 北陸支社 (076)420-5711 中部支社 (052)884-5822
関西支社 (06)4868-1265 四国支社 (087)882-1192 中国支社 (082)282-0166 九州支社 (092)651-0141

〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3番地 AKSビル